

# 広告

# 石狩暮らし

市民の“十人十色”な暮らしを、ご紹介します。



- ①花田昭美さん、美保子さんご夫妻。その真ん中には5歳になった“ほーちゃん”こと池端穂奈美ちゃん。「養成講習会は決して難しくありません。救命講習なども学べて大変勉強になりました」と昭美さん。
- ②花田家には子どもが大好きなおもちゃや人形がいっぱい。
- ③年に1回、5月に開かれるサポート会員養成講習会の様子。
- ④いしかりファミリー・サポート・センターは全国でも珍しく市長公宅の中にあります。
- ⑤市役所に出生の届け出をするともらえるファミサポ無料券。生後6カ月未満まで利用できます。

## 子育てを応援するファミサポのサポート会員。

花田美保子さん(62)は子どもが大好き。幼いころから近所に赤ちゃんが生まれると「抱っこやおんぶをさせてもらいに出かけたものです」と笑います。

4人の子育てを育てた美保子さんは、子育ての苦勞もよく知っています。だから「いしかりファミリー・サポート・センター(以下ファミサポ)のサポート会員にならないかと誘われたとき迷いはありませんでした。私もこんな制度が欲しかったですからね」

ファミサポは、まちぐるみで子育てを応援しようと平成19年に始まった制度。子育ての援助を希望する人と、子育てを手伝いたい人(サポート会

員)を結ぶ組織です。利用のケースはさまざまで、仕事の都合や急な用事、病気や買い物などどんな理由でも託児を依頼できます。一方サポートする側は、自分の都合に合わせて引き受けられるため、負担がありません。

平成20年、美保子さんが会員になると花田家では10カ月の子どもを預かるようになりました。池端穂奈美ちゃんです。ただ、会員である美保子さんがいなければ、ほかの家族がいても預かることはできません。そんなとき残念そうな夫の昭美さん(61)を見て美保子さんは言いました。「あなたもサポート会員になったら?」「そうだな、ほーちゃんならきっと面倒を見ることできるよ」

夫婦だけでなく、次女の里織さん(31)もサポート会員である花田家。美保子さんの“子ども好き”が、家族の間にも優しく広がっています。

## いしかりファミリー・サポート・センター

子育ての援助を希望する人は会員登録(無料)が必要です。サポート会員は18歳以上であること、「サポート会員養成講習会」の受講が必須です。現在のサポート会員数は73人、子育てをしながらサポートする両方会員は41人。利用件数は、平成24年度で512件となっています。

問合せ いしかりファミリー・サポート・センター

☎72-5552(月～金曜9:00～17:00)

